

第 80 回新潟県陸上競技選手権大会 競技注意事項 7/8 版

1. 競技規則について

本競技会は、2026 年 World Athletics 競技規則・日本陸上競技連盟競技規則・本大会申し合わせ事項により実施する。

2. ユニフォームおよび携行品について

「競技会における広告および展示物に関する規程」(国内)を順守すること。抵触している場合は是正を求めるので従うこと。  
(表彰を含む)

3. 参加受付について

受付時間は下表のとおりとする。場所は参加者受付(正面入口付近)で行う。

※「個人申込」でエントリーした競技者(団体)については、個別の受け取り可とする。

期日	時間
7月18日(土)【大会1日目】	7:00~15:00
7月19日(日)【大会2日目】	7:00~15:00
7月20日(月祝)【大会3日目】	7:00~12:00

4. 競技場の開場時間等

	18日(土)	19日(日)	20日(月祝)
開門(スタンド・補助競技場)	7:00	7:00	7:00
閉門 補助競技場	18:00	18:00	16:00
競技終了予定(表彰含)	18:00	18:20	15:30
閉門 屋内走路	18:30	18:30	16:00
閉門 スタンド	18:30	18:45	16:00

5. 練習について

(1) 練習については下表のとおりとし、係員の指示により従うこと。

	17日(金)	18日(土)	19日(日)	20日(月祝)
本競技場	個人利用として ~14:00 まで	7:00~8:30	7:00~8:30	7:00~9:00
屋内走路	個人利用	7:00~18:30	7:00~18:30	7:00~15:00
補助競技場	個人利用	7:00~17:10	7:00~17:30	7:00~14:30

※個人利用については各自で使用料を支払い、練習できる内容については競技場のルールに従うこと。

・大会中の本競技場の練習については、その日にあるトラック種目・棒高跳のみ練習可。

(300mH・他のフィールド種目は不可)

ただし、サークルや助走路確認程度であれば準備等に支障のない範囲で立ち入って確認してもよい。

・本競技場内の芝生への立ち入りは厳禁とする。荷物等も芝生に置いてはならない。

(2) 荷物の管理は選手個人の責任で管理すること。盗難があった場合でも主催者は一切の責任を負わない。

(3) 各団体がカラス対策を行うこと。トンネル内であっても鞆を開けて取っていく事例が多数報告されている。

(4) 補助競技場におけるレーンの使用は以下のとおりとする。なお、フィールド内(芝生)については、投てき競技を行うため、立ち入り・使用を含めて終日禁止とする。

1・2レーン：周回・タイムトライアル

3レーン～：スタート練習・流し等

7・8レーン：ハードル練習

トラック外周部：ジョギング程度のスピード・ウォーキング

(5) 補助競技場におけるフィールド(跳躍)種目の練習については、下表のとおりとする。

(棒高跳の練習はできない)

	7/18(土)	7/19(日)	7/20(月祝)
走幅跳ビット	10:00~16:00 (走幅跳のみ)	走幅跳 7:00~12:00 女子三段跳 12:00~15:00	男子三段跳 7:30~10:00
走高跳ビット	10:00~16:00	7:00~16:00	7:00~11:30

(6) 屋内練習場は走練習のみ使用できる。(ハードル・スターティングブロックを使用した練習は不可)

走る方向は、1500m スタート側→200m スタート側 への一方通行とする。また、窓を開けることは禁止とする。

- (7) ミニハードルやメディシンボール、牽引用チューブなどの練習器具を持ち込んでの練習は禁止する。  
(リレーのバトンを除く)
- (8) 投てき練習は、招集完了後の現地での練習のみとする。それ以外の時間・場所では投てき物を持たない練習のみ可。  
※特に公園内は一般住民が利用しているため、投てき物等を持つての練習は厳禁とする。
- (9) 駐車場・運動公園歩道等の公共エリアでのウォーミングアップ、器具を用いての投てき練習は全て禁止する。用具を持たないやり投げの助走、円盤投・ハンマー投のターン練習のみ可能とする。(タオル等を投てき物とみなして所持しての練習も禁止とする)

6. アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、1名につき2枚配布する。
- (2) アスリートビブスは、そのままの大きさで胸と背に確実につける。ただし、跳躍種目に出場する競技者は、胸または背だけでもよい。
- (3) トラック競技に参加する競技者の腰ナンバー標識については以下のとおりとする。  
なお、シール式をつける場合は、汗等で剥がれ落ちることを防止する為、招集所で配布する安全ピンで留めること。
  - ・高校生については1番～16番までは各学校で用意すること。17番以降については招集所でシール式を配布する。
  - ・大学、社会人については、招集所でシール式を配布する。
  - ・4×400mについては、2走・3走・4走は腰ナンバー標識をつけること。用意は前項に準ずる。
- (4) 混成競技の最終種目は自分のアスリートビブスで走る。(順位を示すビブスは着用しない)

7. 招集について

- (1) 招集所は第4ゲート付近に設ける。
- (2) 招集開始・完了時刻等については競技日程記載のとおりとする。
- (3) 混成競技の招集については、第一種目(100m/100mH)は招集所で行い、以降の種目は現地・もしくは混成競技控室で行う(競技日程参照)。なお、十種競技第5種目(400m)については第4種目終了時点の有資格者で番組編成を行う。
- (4) 招集開始時刻に競技者係から競技者本人が点呼を受ける。その際、アスリートビブス、競技靴、スパイクピン、競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ等の商標のチェックを行う。
- (5) 競技者はビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技エリア内に持ち込んで서는ならない。スマートウォッチについては電波を発信しない状態(機内モードなど)に設定している場合のみ、持ち込みを認める。
- (6) 代理人による点呼は認めない。ただし、2種目以上を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ本人または代理人が招集所に用意している「多種目同時出場届」を、招集を受けることができない種目の招集完了時刻までに招集所に提出すること。
- (7) 招集完了時刻に遅れた場合や、「多種目同時出場届」および「リレーオーダー用紙」がそれぞれの指定された時刻までに招集所に提出されない場合、当該種目を欠場するものとして処理する。
- (8) 招集開始および完了は、招集所に設置されている時計を基準として行う。
- (9) リレー種目は、オーダー変更の有無にかかわらず、ラウンドごとにオーダー用紙に記入して、当該種目第1組の招集完了時刻1時間前までに招集所に提出すること。オーダー用紙の提出がないものについては「欠場」として扱うので、特に決勝に進出したチームは気を付けること。なお、オーダー用紙は招集所にて配布する。  
(決勝については、番組編成確定後、招集所にて準備するので各チームで受け取りに来ること)

8. 欠場について

- (1) 欠場については必ず欠場届を提出すること。欠場届の提出がない場合、今後の競技会参加を認めない場合がある。
- (2) 現地招集所への口頭での申し出、もしくは、以下のURLもしくは二次元バーコードから入力し届け出ること。

【URL】 <https://forms.gle/icXG2FWhxNv6NwRB9>



9. 競技について

- (1) 競技の抽選・番組編成・全体について
  - (ア) 最初のラウンドの番組編成については下表のとおりとする。

	欠場届べ切	番組編成公開目途
DAY1 (7/18(土)) および男子 100m 予備予選	17 (金) 14:00	17 (金) 17:00
DAY2 (7/19(日))	18 (土) 17:30	18 (土) 18:00 頃
DAY3 (7/20(月祝))	19 (日) 17:30	19 (日) 18:00 頃

番組編成後の再編成は行わないが、招集時に棄権者が出て、出場者数が決勝進出数以下となったときは予選を行わない。その際は、次のラウンドのみ行う。(改めて招集を行う)

(その際の決勝の番組編成は、資格記録をシードとして編成する)

番組編成は、大会ページから確認すること。

- (イ) 男子 100m・男子 800m・男子 1500m は、予備予選の結果により、予選の組み分けを行う。  
予備予選免除の競技者は資格記録順の均等割り、予備予選の突破者は予備予選通過条件から均等割りとする。
- (ウ) 各ラウンドの組み合わせについては、その時のランキングを基準とする。同一所属の同一組は考慮しない。  
ただし、リレー種目の予選については、できるだけ同一所属のチームが同一組に入らないようにする。
- (エ) タイムによる次ラウンドへの進出者(チーム)を決定する時に、最終枠に同記録(0.001 秒単位)がありレーンが不足する場合は、当該競技者もしくはその委任を受けた代理人により抽選を行い進出者(チーム)を決定する。
- (オ) 決勝で複数組を行う場合、C→B→A の順で行う。A 決勝の順位が県選手権の順位となる。B・C 決勝出場者が A 決勝の記録を超えたり、A 決勝が 8 人に満たない場合でも、順位の繰り上げ等は行わない。  
(ただし、北陸選手権出場のための 8 位(相当)はオープン参加を除いて決めるため、A 決勝にオープン参加選手がいたことで 8 位が埋まらない場合は、B 決勝の順位順で補充する。)
- (カ) 競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用する。ただし、棒高跳用ポールは各自持参のものを使用すること。また、持ち込みの投てき用具については検査に合格したもののみ使用を認める。
- (キ) TR8 は適用しない。(現場での抗議は認めない。)
- (ク) 競技結果の正式発表時刻は、大型映像で告知された時刻とする。
- (ケ) 登録陸協が「新潟」以外の者は全てオープンとして扱う。オープン参加の場合は、決勝まで進出できるが順位はつかない。また、オープン参加者が決勝に進出できるのは最大 7 人である。(1 人以上は新潟県登録の選手が決勝に進出しているようにする。)
- (コ) 韓国チームについては次のとおりとする。(オープン参加)  
予備予選もしくは予選に、通常に出場する。次ラウンドへの進出はない。
  - ・男子 100m・男子 200m・女子 100m：韓国のみで「招待」として 2 本目を設定する。
  - ・女子 200m：予選の結果(記録)を踏まえ、A 決勝もしくは B 決勝に組み入れる。
  - ・男子 4×100mR：予選のみ出場とする。

## (2) トラック競技について

- (ア) 計時はすべて電気計時(0.01 秒)を用いて行う。
- (イ) 衣類運搬は実施しないので、選手は各自で荷物をまとめるビニール袋等を持参すること。スタート付近の混雑緩和のため、スタート地点に移動する際に、荷物の移動を求めるので指示に従うこと。
- (ウ) フィニッシュ後、競技に支障のない範囲でスタート地点に戻る。  
直線種目は正面スタンド前を通って戻ること。その際、スタート地点付近の通行には注意すること。
- (エ) 次ラウンド進出者が欠場した場合のレーン補充は行わない。

## (3) リレー競技について

- (ア) TR24.10 については[国内]を適用する。
- (イ) メンバーは全て「新潟」登録者のみとする。
- (ウ) リレーに使用するマーカーは各チームで用意すること。
- (エ) 同一所属からの決勝進出チームは記録の最もよい 1 チームのみとする。  
・同記録であった場合は、0.001 秒まで写真を拡大し、良い方とする。(それでも同じ場合は抽選とする)
- (オ) 同一所属のリレーチーム間のメンバー変更は認めない。  
例：B チームに登録されているメンバーを、A チームとして出場させることは不可とする。
- (カ) オーダー用紙は新潟陸協独自様式を試験運用する。オーダー用紙の提出は 8:00 頃から可能とし、大会期間中は招集所が機能している時間帯であれば前日等でも提出も受け付ける。ただし、提出後の変更の可否は TR24.13[国内]のとおりとする。  
予選：第 1 組の招集完了時刻の 1 時間前までに提出すること。  
決勝：予選で提出したオーダー用紙を引き続き使用する。決勝進出したチームは招集所でオーダー用紙の返却をうける。必要事項を記入して新たに監督署名にサインしたものを、再度、招集完了時刻の 1 時間前までに招集所に提出する。(一つの用紙を繰り返し使用する)

(4) フィールド競技について

- (ア) 招集後の練習は、全て競技役員の指示に従うこと。
- (イ) オープン種目については3回の試技のみとする（トップエイトは行わない）。
- (ウ) フィールド競技の試技時間および試技回数（混成）は以下のとおりとする。

単独種目

残っている競技者	走高跳	棒高跳	その他
4人以上	45秒	45秒	45秒
2～3人	1分30秒	2分	45秒
1人	3分	5分	
連続試技	1分45秒	3分	1分45秒

混成競技

残っている競技者	走高跳	棒高跳	その他
4人以上	45秒	45秒	45秒
2～3人	1分	1分30秒	45秒
1人	2分	3分	
連続試技	1分45秒	3分	1分45秒

混成競技のフィールド種目については、次のとおりとする。

- ・長さ、投てき：試技は2回で終了とする。
- ・高さ：連続する2回の無効試技で競技終了とする。また、7回試技を行えば競技終了とする。

- (エ) 手拍子を求める行為は、長さの競技については4回目のラウンドから可とする。高さの競技についてはパスしている競技者を含めて8人以下になった高さから可とする。混成競技のフィールド種目での手拍子は一切禁止とする。
- (オ) 投てき用具の持ち込みを希望する者は、8:00～10:00・12:00～13:00の時間に正面入口付近にて検査を受けること。持ち込みは1人2つまでとする。WRk種目についてはWA認証品に限る。WA認証番号の証明は持参者が行うこと。
- (カ) 検査に合格した投てき用具はその場で一括借り上げし、参加競技者で共有できるものとする。返却は用器具検査場で行うので、競技終了後できるだけすぐに受け取りにくること。現地での返却はしない。借り上げた用具の破損について主催者は一切の責任を負わない。
- (キ) 荷物をまとめる袋等は各自で用意すること。
- (ク) 走高跳（混成競技を含む）に使用するマーカーは各自で用意すること。
- (ケ) 棒高跳に出場する競技者は、支柱移動については現地で競技役員に申告すること。
- (コ) 走幅跳（混成競技を除く）は男子6m00・女子4m00を計測ラインとする。
- (サ) 三段跳の踏切板は、男子：12m 女子：9mに設置する。  
ただし希望により、男子は13m・女子は11mでの試技も可能である。（現地にて申し出ること）
- (シ) 高さの競技のバーの上げ方は下表のとおりとする。

	練習	1	2	3	4	5	以降
男子走高跳	1m85/2m10	1m90	1m94	1m98	2m02	2m06	3cm刻み
女子走高跳	1m40/1m55	1m45	1m49	1m53	1m57	1m61	3cm刻み
男子棒高跳	3m60/4m00	3m70	3m82	3m92	4m02	4m12	10cm刻み
女子棒高跳	現地で申告	2m50	2m62	2m72	2m82	2m92	10cm刻み
混成男子走高跳	現地で申告	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	5cm刻み
混成男子棒高跳	現地で申告	2m60	2m70	2m80	2m90	3m00	10cm刻み
混成女子走高跳	現地で申告	1m25	1m29	1m33	1m37	1m41	4cm刻み

※ただし、気象状況等により審判長の判断でバーの上げ方を変更する場合がある。

※第1位が同成績の場合、順位決定の際のバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

- (ス) 映像機器の受け渡しはコーチングエリア前でのみ行うことができる。吊下具等は各チームで用意すること。

10.抗議と上訴について

- (1) 競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する質問・抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表されてから30分以内(同一日に次のラウンドがある場合は15分以内)に、大会運営本部に申し出ること。時間内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものとみなす。
- (2) 本競技会ではジュリーを配置していないので、上訴はできない。

## 1 1.表彰について

- (1) 1位～3位まで表彰式を行う。
- (2) 表彰の際、選手はウエアまたはTシャツ等を着用の上表彰に臨むこと。(ユニフォームでの受賞は不可とする)
- (3) 表彰は、正面スタンド前にて準備が整い次第随時行う。(雨天等の場合は場所を変更する場合がある。)3位までの競技者は競技終了後速やかに表彰者待機場所に集合すること。なお、重複して出場する種目が以後に予定されている場合は、表彰者待機場所で担当役員に申し出ること。
- (4) ジュニア優秀選手賞(高校生まで)・最優秀選手賞を各1名選出する。(該当者がいない場合もある)

## 1 2.迷惑撮影防止について

各大会における盗撮の報告および日本陸連による盗撮防止啓発により安心安全な大会運営を行う為、以下の事項を守ること。

- (1) 撮影禁止エリアでの撮影は禁止とする。
- (2) 各スタンドでの撮影については、下表のとおりとする。

	携帯電話/スマートフォン/タブレット端末	対象撮影機器※
正面スタンド	○	○
サイドスタンド	○	×
バックスタンド	○	×

- ・対象撮影機器※を使用しての撮影については、撮影時は自チーム名が表示された衣類を着用するなど、関係者であることが視認できる服装での撮影にご協力ください。
- ・対象撮影機器※を使用して撮影している方については、競技役員からお声がけさせていただく場合があります。また、迷惑防止撮影についての注意喚起は大型映像に投影するなどするため、観客同士であっても不審な行動ととられる場合には声を掛け合うなどする場合がありますので、予めご了承ください。

### ※【対象撮影機器】

一眼レフカメラ/ミラーレスカメラ/家庭用ビデオカメラ/カメラ機能付き双眼鏡(単眼鏡)  
ズーム機能使用および望遠レンズ着用のスマートフォン・タブレット端末

## 1 3.医療機関

新潟市民病院 新潟市中央区鐘木 463-7 TEL: 025-281-5151

## 1 4.北陸選手権(8月22日・23日:石川県)への出場権について

- (1) 個人種目については本大会8位までの入賞者及び、別途大会要項に定める参加標準記録の突破者とする。  
(オープン選手がいた場合は、オープン選手を除いて9位以下の選手から順に繰り上げる)
- (2) リレーは8位までのチーム(8チーム)とする。
- (3) リレーについては、有資格のチームが参加申込を辞退した場合は、次点の競技者(チーム)に権利が移る。**北陸選手権への参加申込を希望する場合は、最終日の全競技終了(4×400m表彰式終了後)までに大会運営本部に北陸選手権出場的意思を表明すること(口頭でよい)**。この時まで意思の表明がない場合は参加申し込みを「辞退」とみなし、次点の候補チームに順次意思を確認する。なお、リレーについては予選の順位をランキングとするので、辞退するチームがある場合は、予選の記録9番目のチームから順次確認する。

## 1 5.待機場所について

- (1) 待機場所の設営は、大会1日目(18日・土)7:00から可とする。入場順を決める抽選等を行わない。各チームが良識の範囲で待機場所を確保すること。前日夜等から並ぶことは、安全上の観点から厳禁とする。
- (2) 使用できる場所は、本競技場コンコース、補助競技場、競技場トンネル内とする。その他の公園内については厳禁とする。トイレ前や非常口、車イス優先観戦場所等での設営は禁止とする。  
(本競技場コンコースにはトイレへの誘導線が表示されているが、その上に置くことは問題ない。)
- (3) 本競技場でのテントの設営は禁止とする。競技場外はスワンフィールド芝生(トラック外)のみ可とする。競技場トンネル内での場所取りは構わないが、競技運営ならびに競技用具撤収の際に妨げにならないようにすること。なお、場所取りのテープは養生テープのみ可とする。どの場所においても、妨げになっている場合は主催者が移動する場合がある。
- (4) 荷物の留め置きは以下のとおりとする。ただし、天候等の理由により移動(変更)を求める場合がある。また、盗難、紛失、破壊等があっても主催者は一切の責任を負わない。
  - ・本競技場:シート等で巾着状にしてその場に留め置いてもよい(売店等は開放しない)。
  - ・補助競技場:テントは骨組みとし、そのほかは、トンネル内に置く・もしくは都度持ち帰ること。
  - ・トンネル内:その日ごとに片付け、妨げにならない範囲で小さくまとめておくもしくは都度持ち帰ること。

## 16.大会主催者の免責事項

- (1) 本大会は、競技者及び競技役員・補助員に対する団体総合補償（保険）に加入する。但し、引率と指導者は対象外となる。
- (2) 死亡・後遺障害：117万円 入院（1日180日限度）：1,500円 通院（1日90日限度）：1,000円
- (3) 対象期間は7月18日（土）から7月20日（月祝）とする。

## 17.その他

- (1) 横断幕・部旗・応援旗は、サイド/バックスタンド中段・上段手すりに取り付けることができる。のぼり等はサイド/バックスタンド上段の手すりに取り付けることができる。正面スタンドには、応援旗・部旗・横幕・のぼり等を取り付けないこと。その他の場所については観戦・競技進行等の妨げにならない範囲で認める。ただし、主催者により移動や撤去を要請する場合がある。
- (2) スパイクシューズを履いたまま競技場施設（諸室・スタンド等）には入らないこと。
- (3) 記録掲示は行わない。アスリートランキングで確認すること。
- (4) プログラム（冊子）はチームに1冊配布する。
- (5) 応急処置を要する場合、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡すること。
- (6) 競技会中の傷害などの応急処置は主催者で行うが、その後の処置については、本大会で加入している傷害保険の範囲内とする。
- (7) 記録証明書は発行しない。本大会の出場証明書が必要な場合は大会本部に申し出ること。
- (8) 参加料領収書はエントリーシステム（決済システム）から発行できる支払証明書に代える。  
（振込対応のチームは、振り込み時に発行される振り込み明細書を領収書に代える）
- (9) 大会関係者が撮影した写真・動画は主催者に使用権限があり、SNSなど情報発信に使用する場合がある。
- (10) 棒高跳ポール送付先は以下のとおりとする。往復ともに各自の責任でもって対応すること。  
デンカビッグスワンスタジアム 〒950-0933 新潟県新潟市中央区清五郎 67-12 TEL：025-287-8811  
※棒高跳ポール以外の送付は禁止とする。
- (11) 提出書類等については、下表のとおりとする。

	書類等	提出先	期限等
1	欠場届	競技注意事項8（2）参照	
2	多項目同時出場届	招集所	招集を受けることができない種目の 招集完了時刻
3	リレーオーダー用紙	招集所	競技注意事項9（3）参照
4	棒高跳支柱移動届	現地（口頭）	競技場所で競技役員に口頭で申告すること。
5	抗議申し立て	大会本部（口頭）	競技注意事項10（1）参照